

「地域に誇りを持ち、生涯にわたって学び続ける生徒の育成」
～地域とともに育む 人とつながり 学びに向かおうとする力～

- 重点目標
- ①生徒の確かな学力の育成に向けた、「主体的な学び」を引き出す授業づくり
 - ②生徒が安全で安心できる「居場所」づくり
 - ③教職員が協力・協働のもと、組織的に働きやすい環境づくり

豊かな人間性

- ・体験学習や学校行事を通して、創造性、協働性の育成とともに、自己有用感の伸長を図る。
- ・「ABCDの原則」を行動規範とした生活を送る。
- ・命を大切に、他者との違いを認め合うことのできる心を培う。
- ・人権基軸の道德教育を展開する。

健康・体力

- ・これまでの体力アップ事業の成果を引き継ぎ、体育の時間を要として、部活動や日常生活の中で体力づくりに取り組む。
- ・学校教育全体で食育に取り組み、望ましい生活習慣の確立を図る。

何ができるようになるか
○学校教育の基本

- ・自分の考えを書いたり発表したりできる。
- ・自分と異なる考えを聞いて受け入れられる。
- ・的確に物事をとらえ課題を解決できる。
- ・知識・技能、思考力・判断力・表現力
学びに向かう力・人間性

資質・能力の育成

何が身についたか
○評価を通して学習指導を改善

- ・学び合いを通じて、自分と異なる意見を受け入れて考えを広げるなど、主体的に学ぶこと。
- ・学習したことや体験したことを生かして、学びの質を高めること。

生徒の実態
素直で明朗快活。

- 【課題】
- ・自分の考えを伝える力
 - ・物事を適切に読み取る力
 - ・自己有用感と規範意識
 - ・他者との好ましい関係を構築する力

子どもの発達をどのように支援するか

- ・学校全体で「学び合い」「支え合い」ができる雰囲気づくりを進める。
- ・学校(教職員全体)と関係機関や地域・保護者との協働と連携を図る。

目指す生徒像

- ・自ら取り組む(自主)
- ・言動に責任を持つ(責任)
- ・自他を大切に(思いやり)

何を学ぶか(教育課程の編成)

- ・3年間を見通した授業づくりを進める。
- ・言語活動の充実により表現力の向上を図る。
- ・1人1台のPC配置を踏まえ、ICTを活用した授業作りを研究し実践を進める。
- ・「学習評価を生かした授業改善研究事業」の成果を生かし、引き続き、学習評価の充実を図る。

どのように学ぶか(教育課程の実施)

- ・全体計画・年間指導計画により「単元を通してつきたい力」を明確化する。
- ・教科の特質と教科間・学校段階間のつながりを踏まえた教育課程を編成する。
- ・「めあて」を明確にし、「学びあい」活動を進め、「振り返り」を確実に挙る授業を展開する。
- ・主体的・対話的で深い学びを実践する。

実施するために何が必要か(指導体制の充実、家庭・地域との連携・協働)

- ・校内研修活動(毎学期に研究授業を実施、全員による研究協議)を推進する。
- ・教育課程上の工夫と新しい評価について保護者の理解を深める。
- ・保護者や地域との情報共有を進め、連携して教育にあたる。

安全・安心を守る

- ・「いじめ」の早期発見と適切な対応の実施
- ・「体罰、不適切指導」の根絶 危機(防災)管理の徹底
- ・教育相談活動の充実
- ・特別な支援や配慮が必要な生徒への対応

開かれた学校づくり

- ・学校ホームページの充実と定期的な更新
- ・学校運営協議会によるコミュニティ・スクール
- ・地域行事への参加、ボランティア活動の推進
- ・地域・保護者・校区内小学校との連携推進